

復興支援ボランティア 活動報告



活動の様子

大府市社会福祉協議会では、令和6年能登半島地震の支援活動として、6月28日(金)に、石川県珠洲市で災害ボランティア活動を実施しました。活動は3グループに分かれ、家屋内の片づけや災害ごみ仮置場への運搬作業、海岸清掃などを行いました。みんなで声をかけ合い、適宜休憩を取りながら活動し、各グループ無事に活動を終えることができました。

1日の活動でしたが、大府からの想いをボランティアのみなさんと届け、これからのボランティア活動につなげることができました。珠洲市の復旧・復興にはまだまだ時間がかかります。これからも、わたしたちにできることを考え、支援を続けていきたいと思います。



竹内 勝哉さん

家財の整理や家屋から荷物の運び出しをしました。空調の無い納屋での作業は想像より暑く、止まらない汗をぬぐいながらの活動でしたが、依頼者の方から冷たいお茶をいただき疲れが吹き飛びました。この先の不安や慣れない生活などで、心も体も余裕など無いはずなのに、なんとか感謝の気持ちを伝えたいという想いが、そのお茶には詰まっていた。

災害ボランティア
センターでの
事前説明



活動の様子

テレビで見るより、道路や家屋の被害はすさまじいものでした。未だ手つかずの家も多く、水も不自由している現状を目の当たりにし、事態の深刻さを実感しました。そんな中でも、広大な田園には田植えがしており、道端に花が植えられていました。道路の復旧も本当に大変なことだったと想像します。多くの方々の大変な努力とご苦労を少しですが知ることができました。



吉田 展子さん



家具の
運び出しの
様子

活動の様子

～わたしたちにできることを考えよう～

能登半島の支援のために

- 災害ボランティアに参加する
- 災害義援金や支援金に協力する
- 能登半島へ観光に行く(復旧状況に応じて)
- 震災を忘れない・被災地を想い続ける など

大規模地震に備えるために

- 近所付き合いを大切にする
- 水・食料・トイレなどの備蓄
- 日頃から防災情報を収集する
- 地域の防災訓練に参加する
- ハザードマップを見る
- 自宅の家具固定
- 家族で話し合う など



令和6年 能登半島地震 復興支援ボランティア活動報告会

想いをつなぐ

日時 令和6年8月24日(土) 午前10時～正午
会場 大府市社会福祉協議会(大府市東新町一丁目219番地)
内容 ①大府市の支援報告
②社会福祉協議会職員派遣報告
③ボランティアバス活動報告

参加費 無料
対象 どなたでも
申し込み 8月23日(金)までに、
社会福祉協議会の窓口、
電話・FAXにてお申し込みください。

災害ボランティア・災害ボランティアセンターに関するお問い合わせは **社会福祉協議会**まで